

機能	処理	作業	操作	操作補足	Seleniumとの対応
HTTPスキャン	スキャンの開始/停止	スキャンの開始	スキャンしたファイルを保存	HTTPのスキャン HTTPSのスキャン	SeleniumDEのテストケースをインポート
入力テスト	画面仕様の設定	画面仕様情報の操作 入力項目の属性の仕様設定	画面仕様のインポート/エクスポート 入力項目名の設定 項目の値の設定 入力必須の設定 文字種 文字列長 正常系の判定方法 異常系の判定方法	Excel形式でのインポート/エクスポート 画面仕様の入力項目名を指定 正常系の値を指定 NULL可 NULL不可(必須)を指定 文字 数値 任意 日付 時間を指定 固定長 可変長を指定 移動先URL タイトルタグ 応答HTMLのBODY要素 ステータスコードの中で、OR条件で複数の判定値を指定 移動先URL タイトルタグ 応答HTMLのBODY要素 ステータスコードの中で、OR条件で複数の判定値を指定 漢字、カナ、記号、英字、数字の全角、半角を指定 整数での全角半角と値の範囲を指定 正常系および異常系のテスト値を指定 正常系および異常系のテスト値を指定 正常系および異常系のテスト値を指定	インポートしたSeleniumのテストケースを自動で編集し、入力テストをSeleniumRCで実行
			文字属性の設定 数値属性の設定 任意属性の設定 日付属性の設定 時間属性の設定	HTTPのテスト実行 HTTPSのテスト実行 NULL可 NULL不可(必須)のテストを実行 漢字、カナ、記号、英字、数字の文字の全角、半角のテストを実行 整数の範囲テストを実行 任意、日付、時間の入力形式テストを実行 固定長、可変長を境界値を実行	
機能テスト	機能テストケースの作成 (画面単体)	機能テストケースの設定	入力テストの実行開始	HTTPのテスト実行	Seleniumでのテストは不可
			脆弱性テストの設定	汚染文字入力テスト項目の指定	
機能テスト	機能テストケースの作成 (画面単体)	機能テストケースの設定	入力テスト結果の表示	結果の応答画面の表示 テスト結果のダウンロード	対象画面までのブラウザ操作はSeleniumRCで実行し、その後の画面操作はSeleniumDEで作成
			機能テストの実行	機能テストの実行開始 機能テスト結果のダウンロード	
機能テスト	機能テストの実行 (画面単体)	機能テストケースの実行	テスト判定の追加オプション設定	OSコマンド実行によるテスト実行の判定条件設定 画面出力HTMLの判定条件設定	インポートしたSeleniumのテストケースを組み合わせて機能テストをSeleniumRCで実行
			機能テストの実行	機能テストの実行開始 機能テスト結果のダウンロード	
機能テスト	シナリオテスト (複数画面遷移)	画面遷移のキャプチャと再テスト	テスト判定の追加オプション判定	OSコマンド実行によるテスト実行の判定 画面出力HTMLの判定 機能テスト結果の再表示 機能テスト結果のダウンロード	インポートしたSeleniumのテストケースをSeleniumRCで実行
			シナリオテスト	画面遷移のキャプチャ 再テスト シナリオテストケースのインポート/エクスポート テスト結果のダウンロード	
テスト管理	テスト状況の表示	テスト状況の一覧表示	テスト状況の一覧表示 担当者を指定 テストコメントを入力	画面名、入力テスト項目数とNG数、テスト日 画面名、機能テストケース数とNG数、テスト日 シナリオテストケース数とNG数、テスト日	Ver 4で追加した機能

設定:設計書やテストの仕様書に記載される名称やスベック 記述内容を入力する
 指定:テストする対象などを選択する

Ver 4で追加した機能